

環境に係る情報協議会 国営総合農地防災事業 美留和地区

1. 事業の概要(案)

◆事業の目的

本地区は、泥炭土に起因する地盤沈下の進行により、農業用排水路及び農地の機能低下が生じており降雨時には湛水・過湿被害等が発生するなど、農業経営に大きな支障を及ぼしている。

このため、本事業において農業用排水路の改修並びに、暗渠排水及び整地を行い、それらの機能を回復することにより、農業経営の安定化を図り、併せて、国土の保全に資することを目的とするものである。

◆受益面積 801ha

◆主要工事計画(案)
・排水路7条 (9.8km)
・暗渠排水、整地 (707ha)

2. 弟子屈町の環境に対する考え方

(「弟子屈町田園環境整備マスタープラン」より)

◆農村環境の現状と課題

【現状】

町全面積の65%を阿寒国立公園が占めている弟子屈町は、数多くの動植物が生息・生育する豊かな自然を有するとともに摩周湖・屈斜路湖等の観光資源に囲まれた地域である。

【課題】

レジャー・リゾートなどの普及による自然環境の悪化を防ぐこと及び恵まれた自然環境を生かすため、建造物の形態や色彩などに配慮し、農耕地や市街地などと違和感なく調和されることが必要になっている。

3. 環境配慮のための環境調査

◆環境保全の基本的考え方

- ・本地区の排水路は釧路川へ流下しており、連続した水辺・緑地環境ネットワークを形成していることから、動植物の生息・生育環境を保全する。
- ・工事の際には河川の水質及び地区下流の釧路湿原に対し影響を与えないよう配慮する。

◆基本方針

- ・既存の調査結果を踏まえ、不足している農地及び排水路周辺において動植物の生息・生育について現地調査を実施する。
- ・事業実施中における水質への影響の有無を確認するために必要な水質調査を実施する。

◆環境調査内容

○調査項目	①鳥類 ②魚類 ③両性・は虫類 ④昆虫類 ⑤底生動物 ⑥植物 ⑦水質
○調査方法	鳥 類 ・ ラインセンサス法、定点法 魚 類 ・ 採捕調査 両性・は虫類 ・ 目撃法 昆 虫 類 ・ 任意採集法 底 生 動 物 ・ 定性採集法 植 物 ・ 植物相調査、植物分布調査 水 質 ・ SS、濁度